www.garde-intl.com

Berlin Report

July 2020

CONTENTS

* Project 1: 21 gramm / Café

* Project 2: St. Agnes König Galerie / Gallery



1. 21 gramm

Project Overview

人がその人生を終える時、その体からはちょうど 21 グラムが減るという。「人間の魂の重さは 21 グラム」という説から店名を頂いたというこのカフェは、墓地の一角にあるチャペルと機械用倉庫をリノベーションした物件だ。文化財保護下にある建物のリノベーションには様々な制約があり、細心の注意が必要とされる。オーナーの一人である Jeremias Stüer は 7 ヶ月もかけて 2 人のパートナーとともに改装を行った。

「築 120 年にもなるこの建物は文化財保護下にあるため、空間の形や装飾など変えることが許されていません。あくまでも、場所をそのまま保護しなければいけないのです。そのため私たちが考えたインテリアのコンセプトは、文化財保護下にある空間の中に、新しい空間を入れ子構造にする、ということでした。リノベーションする場合はよく、昔の空間を生かして今の空間と結びつけますが、私たちは発想を逆にしたんです。」

家具や棚などは全て壁から 2cm の距離をとって設置し、さらに壁の色もオリジナルのピンク色に対してカフェ部分を緑色に塗り分けることで、視覚的に柔らかく空間を分けている。ランプも、天井から距離を取ってカフェ部分まで下げて吊るすなどの工夫が施されている。そのランプからはグリーンが生茂るように垂れ、そこここにグリーンが配されている。「墓地という立地から"死"のイメージが強いので、"生"を感じさせるように心がけました。」開放的な空間、テーブル間の距離もゆったりと取られているため、ソーシャルディスタンスにも対応。コロナ禍の後の再オープンに際して、平日も予約でいっぱいと大変な賑わいを見せていた。

Project Details

Type of Business : Café
Open Date: 10/06/2018

3. Location: Hermannstrasse 179, 12049 Berlin

4. Size: Inside 60 seats, outside 60 seats

5. renovation, design: inhouse

LocationMap

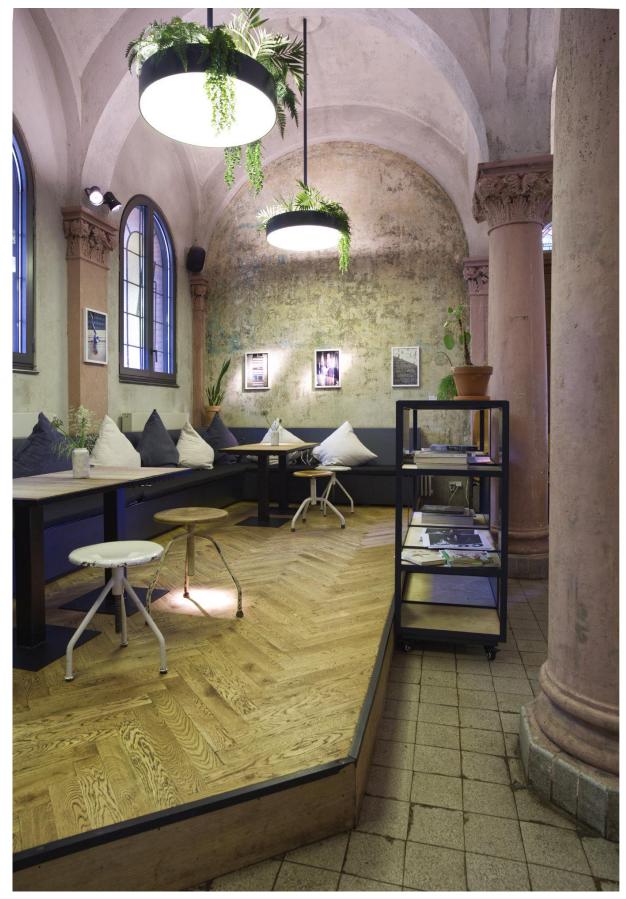




高さ 6,5m の空間。6 面ある壁の下の部分だけ壁を緑色に塗って「カフェ」の部分を分けている。



壁に塗られていた塗料はなんと3層。オリジナルの壁を傷つけないようにそっと剥がしていったところ、聖書の言葉が現れた。 それをインテリアに生かしている。柱の装飾なども当時のまま。



ぱっと見わからないがソファは全て壁から距離を置いて設置。 無駄のないインダストリアルデザインの家具が装飾的な元礼拝堂の空間に映える。



入口の場所を奥から右手前に変えて、テラス席を設置。



窓はオリジナルを生かしながらも二重窓に。



アーチに呼応する LED ランプ。



2. St. Agnes / König Galerie

Project Overview

ベルリンのアート界で最も注目のアドレスといえば、真っ先に名前が上がるのが「ケーニッヒ・ギャラリー」。 1960 年代に Werner Düttmann によって建てられたカソリック教会を、独特のブルータリズム建築様式を生かして改装した。元々の状態がよくなく取り壊しの危機にさらされていたところ、州文化財保護省のディレクターがその価値を認めて文化財保護に指定したという物件のため、そこまで慎重になる必要はなかったというが、この建物の特徴にもなっている、薄めたモルタルを吹きつけた独特の壁の加工やむき出しのコンクリートを改装時にも多用して、元の建築を生かした。教会空間に特徴的な上からの光は、この独特のモルタル加工の壁面に柔らかく反射し、決して強い影をつくることがなく、ギャラリーの展示空間に最適でもあった。建築家は、いかに Düttmann のつくったミニマルなキューブ状の空間を壊すことなく、空間を仕切ることができるかに頭を悩ませたという。その答えは、高さを水平に仕切ること。16 本のコンクリートの柱で床を支え、ギャラリー空間となるもう 1 つの空間を作る。エンドグレインフローリングの床はあえて剥がしてコンクリートをむき出しにし、現代的な空間に蘇った。

Project Details

Type of Business : Galerie
Open Date: 01/05/2015

3. Location: Alexandrinenstrasse 118-121 10969 Berlin

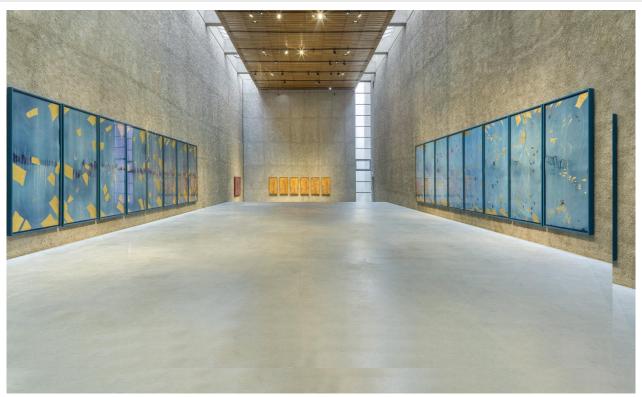
4. Size: 1200 m2

5. Architect: Arno Brandlhuber (Brandlhuber + Emde, Burlon)

Courtesy der KÖNIG GALERIE Berlin, London, Tokio / Fotos: Roman März

Location Map

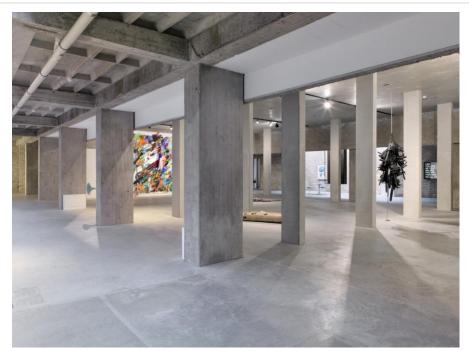




ギャラリー空間。ざらりとした独特の手触りを持つモルタル塗装がどんなアート作品をも引き立てる。 写真は Jorinde Voig の展覧会、The Real Extent。



ギャラリーの下のオフィス空間。コンクリートの質感を前面に押し出した荒削りなつくりが建築家 Brandlhuber らしい。



16 本のコンクリートの柱がアクセントになった下の階は時には展示空間として使うことも。 展示作品は、Monica Bonvicini, Katharina Grosse, Erwin Wurm, Jorinde Voigt, Jeppe Hein。



ミニマルで印象的な外観。前庭には Alicja Kwade の作品。